

〇〇〇〇株式会社 御中

〇〇〇〇本社ビル 簡易所見

株式会社ヨシザワ建築構造設計

先日は、お話をいただきまして、誠にありがとうございました。
〇月〇日に〇〇〇〇株式会社 社長様と建物を見させていただきまして、この件についての所見を以下に述べさせていただきます。

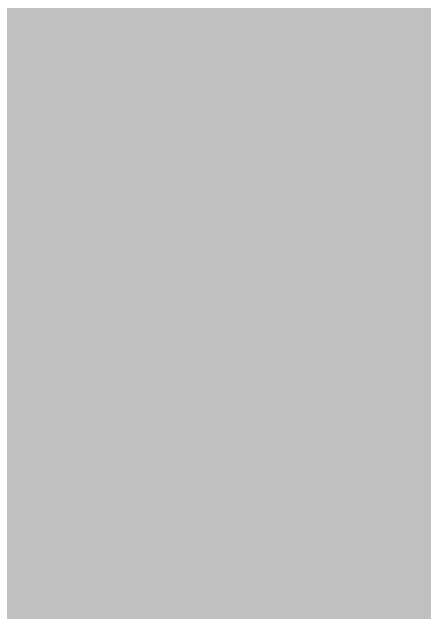
A.所見

①松杭の施工について

社長様より、当建物の杭は、「松杭（松の木杭）だったように思う」と話されました。仮に、それが事実だとすると、鉄筋コンクリート構造 4 階建てのこの種の規模で、松杭での施工は、構造計画のうえでなじまなく、添付のボーリング近隣データからも、松杭が直接的に支持できる地盤や、摩擦力が期待できる地盤もないので、松杭による地盤支持力は、全くないと思われる。（ただ本当に松杭だったのか？）



松杭の写真（参考写真）



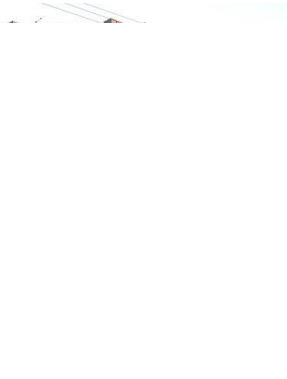
松杭の施工状況（参考写真）

② 前面道路でのシールド工事による建物の影響について

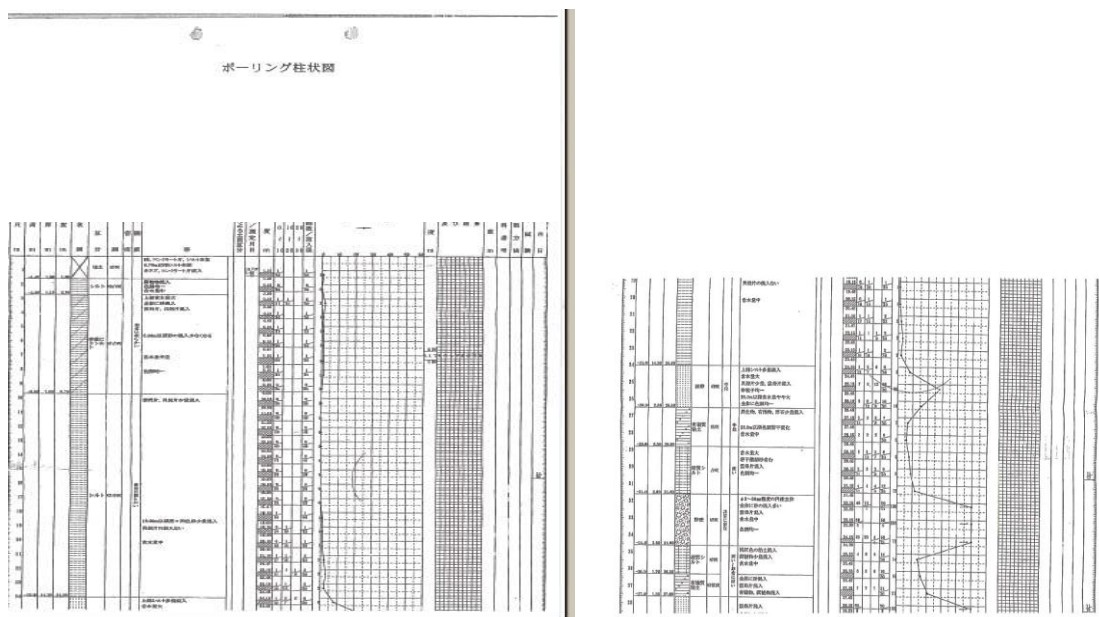
上記①の所見として、結論づけたもう一つの根拠としては、数年前の前面道路地下でのシールド工事（地下掘削工事）で建物が傾いたという話を社長様より伺ったことにも因る。

仮に杭が、支持層まで打ち込まれておれば、（但し当地では支持層がおそらく50m地下だと思われるので、松杭であれば、あり得ないのだが・・・）おれば、杭支持で建物は自立するはずで、地盤沈下はおこらないはずである。

摩擦杭であれば、シールド工事によって、杭の周辺摩擦力が低下して、傾くことの原因となる。（ただ、この地質では、ボーリング調査でその摩擦力を期待できる層もない。）



近隣ボーリングデータ



③ 屋上の増築について

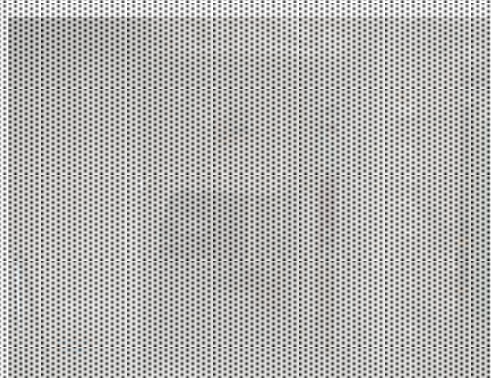
屋上に、部屋を増築した際、外観の見た目が元の姿に戻し、外壁を元の色に戻すことが必要となります。また、構造強度を十分検討した上で、行われるのか、増築建物に土留を増築するなどの土留耐力が求められる場合があります。また、増築部分を除いて、建物の重量を軽減し、負荷を減らす必要があることが、必要になります。

Sample

詳しくは、お問い合わせください。

④ 耐震壁（耐力壁）の撤去について

社長様のご要望により、お住まいの建物の耐震壁の一部を、部屋として利用したいとご希望された場合、耐震壁の撤去が必要となります。耐震壁は、鉄筋コンクリート造りや木造りで、壁式構造とは違い、基本的に柱・梁で構成されているが、鉄筋コンクリート造り、構造が複雑な耐力壁、耐力壁と称するものは、構造耐力壁となるので、この件も十分調査が必要です。



撤去されている耐力壁

B. 今後について

調査は、この調査結果で終わるものではありません。実際に調査等によって、その集体を構成するものごとの状況が明らかになります。

B.1. 今後の調査（調査の継続性について）

調査当時の設計図書が不完全で、従って正確な数値、材質の確認を判定することができず、また、一部の土間が一部解体して、実際に地下を掘り、地中の基礎や柱の基礎が確認できず、このため、必要に応じて

B.2. 調査の性質（調査の継続性について）

この調査は、調査当時の設計図書が不完全で、従って正確な数値、材質の確認を判定することができず、また、一部の土間が一部解体して、実際に地下を掘り、地中の基礎や柱の基礎が確認できず、このため、必要に応じて

Sample

詳しくは、お問い合わせください。

この調査は、調査当時の設計図書が不完全で、従って正確な数値、材質の確認を判定することができず、また、一部の土間が一部解体して、実際に地下を掘り、地中の基礎や柱の基礎が確認できず、このため、必要に応じて

B.3. 解体の模様や状況（調査当時の設計図書が不完全で、従って正確な数値、材質の確認を判定することができず、また、一部の土間が一部解体して、実際に地下を掘り、地中の基礎や柱の基礎が確認できず、このため、必要に応じて

この調査は、調査当時の設計図書が不完全で、従って正確な数値、材質の確認を判定することができず、また、一部の土間が一部解体して、実際に地下を掘り、地中の基礎や柱の基礎が確認できず、このため、必要に応じて

C. 調査結果について

調査は、この調査結果で終わるものではありません。実際に調査等によって、その集体を構成するものごとの状況が明らかになります。

（※詳細な調査資料をご覧下さい）

D.調査費用について（概要）

- a. 航空確認調査（詳細的）
 - ・ 1階上層フロアよりエレベーター入庫
 - ・ 1階フロアより1階全体
 - ・ 地下フロアより1階高層を露出させる
 - ・ 各フロアに設置されている存在性確認する
 - ・ 撮影作業
- b. 航空確認の概観

Sample

詳しくは、お問い合わせください。

航空確認の概観（詳細的）

上記 aへ4.までの調査費用

1階上層フロア確認費用

c. 調査結果報告及び資料作成

一式（航空確認）費用

航空確認費用（航空機）

⑤補強計画、補強効果について

Dの調査結果に基づいて、補強計画、及び補強工事の概算額等、並びに補強効果についての資料を、御提案致します。

⑥一式 1,500,000円（税別）

⑦以上

Sample

詳しくは、お問い合わせください。